

緑蔭図書紹介

『親って何だろろう』 ベンジャミン・スポック 著 (新潮文庫)

『大地の子エイラ』 『恋をするエイラ』

『狩りをするエイラ』 ジーン・アウル 作 (評論社)

『お休みなさい、トムさん』 ミシェル・マゴリアン 作

夏こそ、本を読もう

中村 妙子

夏休みって、子どもでなくてもうれいしもので

ね。

す。猛暑が続いたり、思いもしなかった用事が突

発したりで、じっくり読書をする時間が取れない

みます。

こともあるでしょうが、せめても普段読めずにい

た本を読んでみることにくらい、したいものです

スポック博士って、覚えていらっしやいます

か？ お子さんが小さいころ、『スポック博士の育児書』にお世話になったお母さま方もたくさん、いらっしやると思います。あの本の原著がアメリカで出版されたのは第二次大戦後間もなくのこと、以来流れた四十余年の月日のあいだにアメリカの社会も、日本の社会も、目まぐるしい変化をとげました。

スポック博士もいまは八十八歳。でもまだ現役の感で講演や著作に充実した毎日を送り、三十三歳下の夫人とヴァージン諸島でヨットでクルーズを楽しむこともあるとか。つい先ごろまで、核実験反対の市民運動にも加わっておられました。

スポック博士が、三年前に出された『親ってなんだろう』という本があります。原題は“Parenting”といい、翻訳が新潮文庫に入っています。「働く母親」、「高齢の親」、「しつけにおける父親の役割」、「継父の立場のむずかしさ」、「男女の平等をどう教えるか」など、おりにふれて親

が戸惑ったり、考えこんだりする問題が平易明快に論じられています。

主として乳幼児から小学生を対象としていた「育児書」と違い、この本では思春期の少年少女達にも、多くのページが割かれており、著者自身、自分を侵入者と見なして白眼視するティーンエイジャーの義理の娘に手を焼いてカウンセリングを受けに行った次第なども率直に記されています。読書グループで取り上げて、話し合いの土台にしても面白いでしょう。

夏の読書に最適なのはジーン・アウル著『大地の子エイラ』、『恋をするエイラ』、『狩りをするエイラ』のシリーズ。評論社から出版されています。紀元前三万年という大昔の雄大な物語。氷の谷でのマンモス狩りなど、まさに清涼の気をはらんで暑気払いの効果満点です。エイラは原始時代の「おしん」という寸法でしょうか。

著者のアウルさんはいいいます。

「新しいことを学び、ほかの人にそれを話すのは、わたしにとっていつも大きな喜びでした。わたしが科学に感じている魅力の一つは、あるものがどのようにして現在のものになったかということを理解する楽しさです。

そのころ、わたしはイラクのシャニダール洞窟の発掘にかんするソレッキの著書に興味を覚えていました。この洞窟で最初に発見されたネアンデルタール人の人骨化石は一方の肩が萎縮し、片腕が肘のところで切断されている老人のそれでした。わたしはそれを、ネアンデルタール人がきわめて人間らしい心情をもっていた証拠だと考えたのです。そのような障害をもつ男には、自分で狩りをするなど、話のほかだったでしょう。しかも萎縮は、ごく早い時期からのものと思われました。誰かが彼を保護し、面倒を見たに違いありません。ネアンデルタール人は、彼らのうちの弱

者を捨てて死に至らしめはしなかったのです。彼らには思いやりが、社会的良心があったのです。

それがそもその始まりでした。大昔の化石に息を吹きこむには、知識が必要でした。当時の気候はどうだったでしょう？ 動物は？ 植物は？」

著者の好奇心、探究心から始まった小説。先史時代の話でありながら、人種差別の問題や両性の平等の問題、異民族間の理解の難しさなど、現代世界の切実な問題が取り上げられ、平和な二十一世紀にむけての著者の悲願も感じ取れるようになります。

もう一冊。この本はいま印刷中で、出版はうっかりすると秋にずれこむかもしれないのですが、『お休みなさい、トムさん』という、イギリスの戦争中の物語をご紹介します。珍しいことに、イギリスの疎開児童の話です。厳しい母親の

もとで喜びというものを知らなかった少年が、疎開先ではじめて暖かい愛情に囲まれ、友達もでき、やっと落ち着いたところで母親に呼び戻され、空襲下のロンドンでたいへんな経験をしますが、救い出されて大好きな養い親のトムさんと暮らすようになるという筋です。二人のほか、村のお医者さんや、同じ疎開仲間のユダヤ人の少年も生き生きと描かれ、イギリスの物語らしい重厚さ

とともに楽しい笑いもふんだんに振り撒かれています。原題は“Goodnight, Mr. Tom”といわれ、著者のミシェル・マゴリアンの作品が日本で紹介されるのはこの本が初めてだと思えます。すぐれた児童図書に贈られるガーディアン賞を受賞しています。

(翻訳家)

